

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名	ROSELLE CLUB T			公表日	令和8年 2 月 14 日
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		活動スペースは十分にとっています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		適切である。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		バリアフリーになっており走ったりとたくさん身体を動かす事ができる	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎日掃除を行い子供達が清潔な事業所で過ごせる様にしています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		大きな音が苦手な子供や落ち着きたい時には静かな部屋を準備しています	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		ミーティングを行い確認しています	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		集計した後に職員のミーティングの際に共有し改善をしています	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎週ミーティングを行い情報共有や改善策を話しています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		法人内で社内実地指導を行い、評価をし業務改善に繋げています	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		委員会を設置し全職員対象の研修を行なっています	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		アセスメント後に事業所での個別支援会議を行なっています	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		保護者に話しを聞き、実際に児童を見て計画書を作成しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		計画書を作成する際やミーティングの際に児童の話しをし職員との情報共有を行い作成しています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		計画書の内容を職員と確認し支援を行なっています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		体験をしたり、えいぶるノートを活用したりし確認しています。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		児童の様子を送迎の際に保護者さんに話しをしその情報を職員間で共有しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		プログラムの内容を職員全体で立案し支援を行なっています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		固定化されないようプログラムの内容を話し合い工夫しています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		児童の様子を話し合い計画書に反映しています。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎日のリーダーを決めて1日の流れを職員や児童に伝え活動しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		送迎が終わり次第、ミーティングを行い翌日に反映しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		支援記録を入力し何かあった時にはミーティングの際に伝え情報共有し改善をしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		送迎の際に聞き取りをしたり、電話にて聞き取りを行なっています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児発管が参加しその前にも職員からの聞き取りも行なっています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		協力病院があります。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		こども園や保育園などを交えた会議を行なっています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		会議を行い情報共有しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9		会議の際に話しをしています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9		地域のイベントなどで交流活動があります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎の際に情報共有を行ったり連絡ノートにてお話し情報共有を行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		保護者会の開催をし情報共有しています。	
	保護者への説	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約の際に利用料などの話しをしています。
36		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		保護者の聞き取りを行い児童の様子と合わせてお伝えしています。	
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		保護者と内容を確認し計画書を作成しています。	
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		送迎の際に相談を受けた時に情報共有し職員全体でフォローできるようにしています。	
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		保護者会を開催しています。	

明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		相談などがあった際にはその日でミーティングを行い話しをしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		ホームページの認知が低いので再度、お伝えします。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		個人情報の入ったキャビネットは常に鍵をかけ保管しています。 また、個人情報の取り扱いについて同意書をいただいています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		分かりやすい言葉で簡潔に伝えています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		地域のイベントに参加しています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		マニュアルを策定し、それぞれの研修を行なっています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		年に2回の避難訓練を行なっています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		アセスメントを取る際に確認しています。 また、一覧表を作成しすぐに対応できるようにしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		おやつや食事を持参していただいています。 また、すぐ見える所にアレルギーを表記しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画を作成し職員間で共有しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		避難訓練や防災訓練を行なった事を連絡帳や送迎時に伝えています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ミーティングの際に情報共有し対策まで検討しすぐ、対策を行なっています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置し全職員対象の研修を行なっています。また、市町村の研修を受けた職員の伝達研修を行なっています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		マニュアルでは同意書があるが該当児童はいません。		